

クラスター	病理・病態系クラスター			
授業科目名	小児外科学・実習			
担当者名	責任者	水野 大	分担者	森井 真也子
単位数	1単位(選択)		配当年次	1, 2年次
授業形態	講義, 実習		実施場所	授業計画の[実施場所]を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			

授業の概要・到達目標

授業の目的: 小児外科学における基礎的, 臨床的課題について理解することを目的とする。
 授業の到達目標: 小児外科学における基礎的, 臨床的課題を理解し, 説明することを目標とする。

授業の概要: 臨床医学の一分野である小児外科学は, 主に先天性消化器疾患を対象とし, 最終的に病める患者のintact survivalを目指している。対象患者は胎児期から思春期に及び, 形態異常あるいは機能異常に対する治療手段として臓器移植も行われる。

講義では, 以下の5主題につき, 基礎的あるいは臨床的課題を概説する。

- 1.2. 出生前診断と胎児治療: 以下のことについて解説する。
 - ① 国内外の外科疾患に対する胎児治療の現況
 - ② 教室での胎児治療に関する研究(家兔胎仔横隔膜ヘルニアモデル, 羊胎仔横隔膜ヘルニアモデルに対する子宮外胎児治療)
 - ③ 出生前診断, 胎児治療の将来と倫理的問題点
- 3.4. 胆道系の発生異常: 小児外科疾患のうち, 難治疾患のひとつである胆道閉鎖症の成因は未だに不明である。胆道系が成熟すると消失するヤツメウナギを実験材料に, アポトーシスの面から肝・胆道系の発生を解説する。
- 5.6. 排便機能障害の臨床: 直腸肛門機能検査法であるfecoflowmetryは, 模擬便で排泄状態を評価できる方法である。小児外科疾患のヒルシュスプルング病と直腸肛門奇形の術後に排便機能評価を行い排便訓練に利用し, QOLの向上を図っており, その実際を概説する。
- 7.8. 臍・胆管合流異常環境下における発がん機構: 先天性胆道拡張症では, 小児例でも胆道がんが報告されており, 臍・胆管合流異常に対す分流手術が必要とされている。臍・胆管合流異常環境下における発がん機構についての研究を解説する。
- 9.10. ω 3系脂肪酸による肝内胆汁うっ滞の治療: 近年, 小児の腸管機能不全症に伴う重篤な肝内胆汁うっ滞や肝障害に対して, ω 3系脂肪酸の有効性が報告されている。当科で行っている ω 3系脂肪酸の臨床研究および基礎研究について解説する。

	講 義 題 目 (講 義 内 容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	出生前診断と胎児治療	水野 大	小児外科学 〔講座カンファレンスルーム〕
2			
3	胆道系の発生異常	森井 真也子	
4			
5	排便機能障害の臨床	森井 真也子	
6			
7	臍・胆管合流異常環境下における発がん機構	水野 大	
8			
9	ω 3系脂肪酸による肝内胆汁うっ滞の治療	森井 真也子	
10			

授業形態および成績の評価方法・基準

講義室(研究室)での講義30時間+自学自習15時間, 計45時間で1単位とし, 評価は出席状況と口頭試問および筆記試験の結果, 提出したレポートの内容を考慮して行う。

問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)

水野 大(mmizuno@gipc.akita-u.ac.jp), 森井真也子(mayako@gipc.akita-u.ac.jp)

その他特記事項

履修に関する情報: 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。

教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。

自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。